

※受付番号		※ 特定入居該当者	※	※ 特例法該当者					
<h1>村営住宅入居申込書</h1> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>芸西村長 溝渕 孝 様</p> <p style="text-align: right;">申込者 <small>ふりがな</small> 氏 名 ㊟</p> <p style="text-align: center;">生年月日 年 月 日</p> <p>村営住宅に入居したいので、芸西村営住宅設置及び管理条例第8条第1項の規定により関係書類を添えて次のとおり申し込みます。 なお、この記載内容が事実と相違するときは、申込みに関する一切の権利を放棄することを誓約します。</p>									
本 籍 地									
現 住 所	電話番号								
職 業									
勤 務 先	住 所	電話番号							
	名 称								
入居希望 団 地 名	村営住宅	団地	入居希望 部屋番号	号室 間取り 2DK (2K) 3DK 4DK					
入 居 す る 者 の 現 況	続 柄	<small>ふりがな</small> 氏 名	生年月日	年齢	性別	心身の状況	職業	平均収入 月 額	摘 要
	1 申込者								
	2								
	3								
	4								
	5								
	6								
現在別居しているが、同居の予定の者	続 柄	氏 名	現 住 所		別居した時期	別 居 理 由			

別居している所得税法上の扶養親族	続柄	氏名	生年月日	年齢	性別	心身の状況	職業	平均収入 月額	別居理由	摘要		
住宅に困窮している状況及び住宅を必要とする理由	現住所の状況	住宅の持ち主	自己所有・親族所有・共同所有・他人所有（アパート・借家）				住宅の構造	木造・鉄骨・ブロック・鉄筋				
		住宅及び家賃	氏名				住所					
			家賃月額（光熱水費を除く。）			円	敷金			月分		
		住宅の種類	普通住宅（一戸建て・長屋建て）・アパート・住宅でない建物（ ）・その他（ ）									
		住宅の使用状況	民営借家・社宅・会社等寮・官公舎・公営住宅・その他（ ）									
			面積	m ²	居室数	畳室・畳室・畳室						
	水道		専用・共用		炊事場	専用・共用		便所	専用・共用			
	1 独立居住		1戸の家を全部使用 （アパートを含む）			2 同居	他の世帯と共に 1戸の家を使用		3 間借	1室又は数室を限り使用		
	住宅困窮理由	1	住宅以外の建物又は場所に居住している。					住宅困窮理由の詳細				
		2	保安上危険又は衛生上有害な状態にある住宅に居住している。									
		3	他人の世帯と同居し著しく生活上不便を受けている。									
4		住宅がないため親族と同居することができない。										
5		住宅が狭く世帯人員が多過ぎて過密居住である。										
6		間取りと世帯構成との関係から衛生上有害又は風教上不適当な状況である。										
7		正当な理由による立ち退き（裁判所の判決・官公庁の命令・その他）の要求を受けて立ち退き先がない。										
8		住宅がないため勤務場所から著しく遠い地に居住している。 （住宅から勤務先までの所要時間 時間 分）										
9		収入に比べて著しく高い家賃を支払っている。										
10		住宅がないため結婚できない。										
11		その他住宅に困っている。										

現住所付近の見取図

現住所の平面図

※ 審	決 定		調 査 事 項			
	書 類 審 査	適 合 ・ 不 適 合	調 査 年 月 日	年 月 日	調 査 員 職 ・ 氏 名	㊦
	委 員 会 意 見	適 合 ・ 不 適 合	調 査 実 施 場 所	自 宅 ・ 隣 家 ・ 勤 務 先 ・ そ の 他	面 接 者	
	決 定 条 件		調 査 事 項		調 査 の 実 態	
査	実 態 調 査 の 意 見 入 居 資 格 の 有 無 の 判 断 有 ・ 無		申 請 書 記 載 の 家 族 構 成 確 認			
			申 請 書 記 載 の 収 入 を 得 て い る 者 の 確 認			
			申 請 書 記 載 の 収 入 額 の 確 認			
			申 請 書 記 載 の 申 請 理 由 の 確 認			
			建 物 破 損 度		大 破 ・ 中 破 ・ 小 破 ・ 無	
			そ の 他			

- 注 1 村営住宅入居者募集案内をよく読んだうえで記入してください。
- 2 この申込書は、ボールペンで正確に読みやすく記入してください。
- 3 該当する欄に記入し、又は○印を付けてください。※印欄は、記入しないでください。
- 4 「構造」欄は、耐二で1団地のみです(1世帯で2戸以上申し込むことはできません。)
- 5 「別居している所得税法上の扶養親族」欄の「摘要」は、所得税法上の老年者、寡婦、寡夫、障害者、特別障害者等の別を記載してください。
- 6 「住宅に困窮している状況及び住宅を必要とする理由」欄の「住宅困窮理由」は、該当する理由の番号に○印を付けてください。
- 7 「給与所得」欄及び「給与所得以外の所得」欄の所得額は、古い月から順に欄を縦に使用し、一時金(賞与等)については、該当する年月の欄に通常の給与とは別に2段書きにしてください。
- 8 「給与所得以外の所得」欄の「所得税法に基づく必要経費額」は、内容を証明することができる内訳書を別に添えてください。
- 9 「現住所付近の見取図」欄は、実態調査のため必要ですので、わかりやすく(目印となる建物等を示して)正確に記入してください。
- 10 「現住所の平面図」欄は、現在居住している住宅の間取り(台所、押入、便所、窓、壁等)を記載し、アパートのときは、専用部分のみ記載してください。
- 11 次に掲げる書類を添えてください。
- (1) 申込者及び当該申込者と現に同居し、又は同居使用とする者の納税証明書
 - (2) 8に掲げるほか、所得証明書その他所得の額を証明する書類
 - (3) その他村長が必要と認める書類